

県本部 定期大会

声を集め、要求し続ける大切さ実感! 対話し、要求し、仲間増やし、改善進めよう



第582号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員
の同意なく含まれていません)

日程

- 【8月】
 - 1 千羽鶴を海外へ送るつどい(教育会館)
 - 4 原水爆禁止世界大会(広島～6)
 - 7 久万高原町職定期大会 原水爆禁止世界大会(長崎～9)
 - 9 県本部拡大執行委員会 中予総支部定期総会 自治労連青年部全国委員会&平和学習(長崎)
 - 20 県公務員共闘常任幹事会(web併用)
 - 21 南予総支部定期総会 県自治体問題研究所常任理事会
 - 23 自治労連事前会議(福岡)
 - 24 自治労連定期大会(福岡～25)
- 【9月】
 - 6 愛媛労連定期大会(共済会館)
 - 13 県本部拡大執行委員会 県本部労働学校(～15) 全労連女性部定期大会(～14)



7月12日、県本部「第84回定期大会」に18単組51人(十来賓・争議団他6人)が参加。議事の最初に《議案第3号》新規加入組合の承認が提案され「西予医療介護職員労働組合」の自治労連加入を承認。森賀県本部委員長が「組合旗」を贈呈しました(写真左)。その後、執行部の報告・提案を受けて、討論で14人が発言(※以下抜粋要約)。すべての報告・議案を承認・採択し、新役員を選出しました。

【青年部】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」

【松山】2006年から現業止規採用がなかったが、あきらめず要求し続け、24年度から3年連続で清掃現場に正規新採が配置され全員組合加入。再任用の給与改善で7月に団体交渉。【今治水道】安全安心で安定した水の供給のため、技術継承が可能な職場環境を要求し続け、技術職の通年募集や初級採用など改善が

【西予】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」

【西予】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」

【西予】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」

7月12日、県本部「第84回定期大会」に18単組51人(十来賓・争議団他6人)が参加。議事の最初に《議案第3号》新規加入組合の承認が提案され「西予医療介護職員労働組合」の自治労連加入を承認。森賀県本部委員長が「組合旗」を贈呈しました(写真左)。その後、執行部の報告・提案を受けて、討論で14人が発言(※以下抜粋要約)。すべての報告・議案を承認・採択し、新役員を選出しました。

【青年部】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」

【西予】学習と交流を「要求し続ける大切さ」を感じた。【西予】病院等の民営化は「医療介護職員だけの問題ではない」と市職労全体で対応してきた。2年余りの活動で「要求し続けること」



6月29日、四国ブロック将棋大会を高知県で開催し2県(愛媛・高知)から4単組6人が参加。総当たり戦で競いました。結果は次のとおりです。《順位》優勝・森賀和也さん(四国中央 準優勝・小野真道さん(西予) 3位・鈴木武雄さん(四国中央)



7月4日、自治労連本部が行った「会計年度任用職員の私傷病休暇の有給化及び、再度の任用上限(公募)見直しの自治体検討状況」の調査(4月30日～6月27日)結果について記者会見を開きました。昨年12月に人事院が国の非常勤職員の病気休暇(私傷病)を10日間有給化するよう制度改正。総務省は地方自治体に対し、4月1日より国に同様に直すべく、例規

7月4日、自治労連本部が行った「会計年度任用職員の私傷病休暇の有給化及び、再度の任用上限(公募)見直しの自治体検討状況」の調査(4月30日～6月27日)結果について記者会見を開きました。昨年12月に人事院が国の非常勤職員の病気休暇(私傷病)を10日間有給化するよう制度改正。総務省は地方自治体に対し、4月1日より国に同様に直すべく、例規

【自治労連】
会計年度職員の病気休暇有給化
公募見直し状況調査結果を会見



第22回 自治労連 西予市職員労働組合定期大会

西予市職労は6月25日、定期大会を開催し56人が参加。今年4月から指定管理者制度で西予市職労から医療介護支部が独立・組織移行して初めての大会となり、西予医療介護労組の堀田書記長も来賓参加しました。経過報告では、安部田委員長が「県本部統一要求・単組要求書の提出で、働き方や職場環境の改善が少し

方針を提案。保育園で働くすべての職員の知識を高める学習会等への参加機会確保、安心して働き続けられる職場環境・待遇改善の実現、職員間交流を深めるレクの実施などを提案。予算案、新役員も提案し、全議案が採択されました。福嶋新委員長は「全員の団結で、より良い職場づくりへと取り組む」と決意表明しました。

【西予】定期大会開催「あきらめず要求し続ける」が改善の「一歩」教訓に

ずつ確実に進んでいる。市立病院等の民営化問題でも、要求し続けることの重要性を改めて実感した」と総括。このほか女性部・青年部・医療介護支部の報告もあり、決算・予算・新役員選出など全議案が承認されました。片山新委員長が「労働組合の役割をしっかりと果たせるようがんばりたい」と決意表明。また、4人の新採職員の加入が報告され、ひと言ずつ自己紹介し、温かい拍手で迎えられました。



【宇和島病院】定期大会で要求前進を確認 「要求出しあい、闘う方針」決定

市立宇和島病院労組は6月20日、定期大会を開催。経過報告では「初任給2号上位格付と在職者調整」「診療報酬改定・ベースアップ評価料の独自加算など一連の賃金改善」や「会計年度任用職員の改善」「新採職員の新規加入」など報告。運

動方針では、「中堅・高年齢層の賃上げ」「各種手当（特に待機手当）の引上げ」や「人員確保」「労働時間短縮」「休暇拡充」などの要求が確認されました。すべての議案と役員が承認され、久保田新委員長が「病院を取り巻く状況は大変厳しいが、団結してがんばろう！」決意表明し、大会を終了。懇親会で組合員間の交流を深めました。



【ココロ】定期大会開催。活動の成果とさらなる組織強化拡大を確認

ココロユニオン（内子社協労組）は6月26日、第8回定期大会を開催。平井委員長が「安心して働ける職場へ団結を深めていきたい」などあいさつ。県本部森賀委員長、内子町職力石委員長が来賓としてあいさつ。活動・決算報告に続いて、活動

方針を提案。保育園で働くすべての職員の知識を高める学習会等への参加機会確保、安心して働き続けられる職場環境・待遇改善の実現、職員間交流を深めるレクの実施などを提案。予算案、新役員も提案し、全議案が採択されました。福嶋新委員長は「全員の団結で、より良い職場づくりへと取り組む」と決意表明しました。



【西予医療介護】声を集め、市・協会へ要求 じじいり活動すめよう

西予医療介護労組は7月16日、執行委員会を開催し10人が参加。県本部大会参加の感想として小西委員長「津島吉田病院労組から『西予のことは対岸の火事ではない』と発言があった」。上村執行委員「自分の組合以外の会議に初めて参加、熱い思いで頑張っているの

知ることにより、制度の問題点に気づくことができる。逆に言えば、現状や制度を知らなければ問題や課題に気づくことはできない」と地道な学習が自分たちの働く環境を知るために必要と、若手組合員にわかってもらうために、地道に学習会を続けていきたいと考えています。また、学習だけでなく交流を深めるために、今後も様々なイベントを企画します。

が印象的だった」など発言。報告では、公平委員会へ分限免職された191人中110人が審査請求書提出。職場の声を集めた市・協会・施設長宛「要求書」を7月中旬に提出、議員懇談会の設定、自治労連全国大会参加などを確認。協議で「市から協会への移行職員だけでなく、協会採用職員の声も聞き、要求に取り上げ、加入も働きかけよう」などの意見がありました。



【今治】職場の「山林火災支援金」寄贈 技術職初級採用など前進あり

今治市労連（市職・水道労組）は6月30日「25基本要求書」にもとづき団体交渉を実施。交渉に先立ち、職場から組合に寄せられた「山林火災支援金167174円」を寄贈。総務部長が受け取り、交渉参加者から拍手がありました。団体交渉では、総務政策局長から

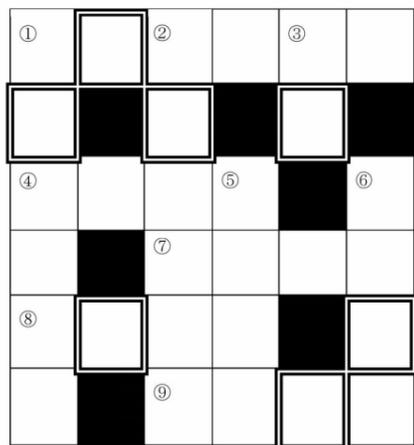
「回答」があり、状況確認や意見交換を行いました。■技術職の採用・確保が厳しい状況は認識しており、採用方式の改善をすすめている。今年度は、技術職民間経験者枠の年齢条件を44歳に引き上げ。土木職は通年募集とした。その他、会計年度任用職員制度の改善、男性の育児休業取得などについても要求し改善を図るよう求めました。



【西条】青年部賃金学習会開催 制度知り課題に気づく学習を

西条市職労青年部は7月11日、新規採用1・2年目職員に向けた賃金学習会を実施。13人が参加し支給される給与について理解を深めました。組合員の交流を深めつつ、軽食を食べながらの和やかな学習会となりました。「学習を通じ自分たちの給与・待遇等のしくみを

マス目を埋め、二重枠の7文字でことわざにして下さい。



- 【ヨコのカギ】
- ①困って途方にくれる
 - ④あらかじめ相談し話の内容をあわせる。〇〇〇をあわせる
 - ⑦汽水からなる湖
 - ⑧♪行きは〇〇〇帰りは怖い〜
 - ⑨金銭の総額や物品の明細のこと
- 【タテのカギ】
- ①美術品・切手などを集めた物。収集品
 - ②想像上に描かれた理想的な世界。ユートピア
 - ③鶏肉で〇〇先、〇〇元
 - ⑤「最後の一個」をこう言ったり
 - ⑥横にして掛けること

出題者 堀川孝行

おたより ありがとう

「ありがとう」。私も仕事で行き詰まった時に、心の中でコールしたいと思っています。

■毎年夏は所属するボランティア団体の一員としてイベントに出る機会が多くなります。今夏一番のイベントは地元商店街の夜市ステージ。市民の方と盆踊りを踊るのが今から楽しみです。

■本市では7月、2週連続の選挙となりました。夏季の選挙で大変な環境の中、事務従事いただいた職員の方、本当にお疲れ様でした。

■カバンにバッグチャームをたくさんつけるのが流行中。私の世代ではキーホルダー。いつの間にかチョッキはベスト、巻き



【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】8月27日【発表】584号(9月号)

大坪 徹也(新居浜) 小林 弘樹(津島吉田) 小野珠李亜(新居浜) 永易 優子(新居浜) 藤井 隆嗣(新居浜)

■580号のパズルの答えは「ゲンバクトウカ」(原爆投下)でした。正解は7通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)